



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラク・クウェイト：イラク・クウェイト間問題（7月14日付アラム・アル・ヨウム紙）

14日付クウェイト紙アラム・アル・ヨウム紙によると、イラクのカーイス・アッザーウィー・アラブ連盟大使は、イラク・クウェイト間問題について、以下のように発言した。

1. イラク・クウェイト間の最大の問題は、湾岸戦争後に安全保障理事会決議にもなった国境問題である。
 - (1) イラクはこの国境を認めない。
 - (2) その理由は、安全保障理事会には、いかなる国であれ国境を確定する能力がなく、そのような前例もないからである。
 - (3) クウェイトの同胞との間でこの問題を解決するには、相当の労力と時間を必要とするだろう。
2. イラクは国連憲章第7条の適用から外れることを願っており、そのためにアラブ諸国や国際社会と協力してきた。
3. 国境問題を除けば、イラク・クウェイト間の問題は全て解決可能である。イラクはこれまでにクウェイトに対して276.2億ドルの賠償金を支払い、残りは420～520億ドルとなっている。一国が支払った賠償金としては最大の額である。
4. クウェイトはこのほかに湾岸戦争中の捕虜やイラク占領下で拉致された自国民の遺体、およびイラクに持ち去られた公文書の返還を要求している。これらの問題は、双方の国民が互いに同胞であることを認識し、そのような二国間関係の枠組みで双方が協議すれば解決できる。